

<その他、取組に特徴のある事例>

## ○伝染病蔓延防止対策

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>しべつぐん</small> 標津郡中標津町 <small>けねべつ</small> 計根別地区			
協定面積 7,236ha	田	畑	草地 (100%)	採草放牧地
			牧草	
交付金額 10,854万円	個人配分			1%
	共同取組活動 (99%)	集落担当者の活動に対する経費		
		農地保全対策費・作業道整備		1%
		花壇整備		8%
		環境負荷軽減対策 (浄化槽保守管理等)		1%
		伝染病蔓延防止対策 (車両消毒システム整備)		8%
		共同牧場整備		52%
		農用地保全マップ <sup>※</sup> 作成・ヘルパ <sup>※</sup> -事業助成		3%
		その他 (繰越・会議費等)		2%
				24%
協定参加者	農業者 112人、生産組合4、農業生産法人9、非農業者1			開始：平成12年度

### 2. 取組に至る経緯

農業者は、国民に安心・安全な食料を供給する義務がある。一方、天候等外的要因に脆弱な生産基盤の上に成り立っており不安定要素が少なくない。当地域も例外ではなく、その中でも伝染病蔓延による被害は甚大で予防策を講ずることが大切である。そこで、別海町計根別が集落と連携し地域内外を走行する車両 (家畜車・マイクロリー等) に消毒システムを装着すると共に消毒液使用可能な洗車機設置・敷地内舗装拡充を行い、地域を上げて防疫体制の強化を図り消費者に安心・安全地帯であることをアピールする。

### 3. 取組の内容

平成22年～23年に車両消毒システムを家畜車2台、マイクロリー7台 (うち別海町5台)、資材燃料等運搬車9台 (うち別海町2台) に装着した。

また、平成23年に洗車機を55台設置し、敷地内舗装拡充を23件行った。

敷地内舗装拡充については、24年に25件、25年に26件、26年に25件行う予定である。



【役員会】



【設置した洗車機】

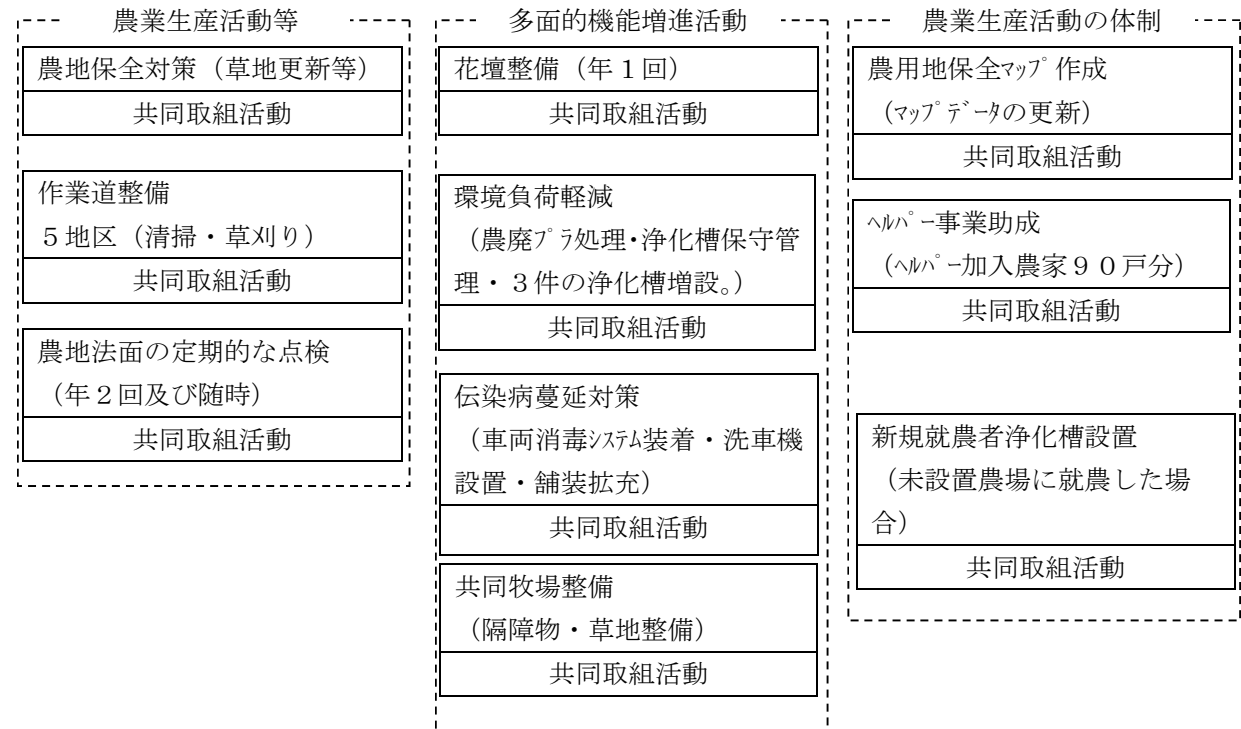
**[集落の将来像]**

○ 10年以内に搾乳休止意向を持っている協定参加者が20%を数え地域存続・農地流動化が懸念される中担い手規模拡大・新規就農受入を円滑に行うため、計画的な草地更新・雑草撲滅・土壌改良を促進する。



**[将来像を実現するための活動目標]**

- 認定農業者の確保
- 認定農業者の育成



**4. 今後の課題等**

休農意思を持っている協定者に農地適正管理意識を醸成し、農地集積や新規就農が円滑に出来るよう努力しなくてはならない。

**[第2期対策の主な成果]**

1、畜舎排水対策（浄化処理槽の設置）	21年目標100カ所 実績98カ所
2、農廃プラ処理	21年目標 100t/年 実績120.7t
3、草地生産性向上（草地更新）	21年目標 1,000ha/5カ年 実績1,335.7ha
4、認定農業者育成	21年目標80人 実績92人
5、学校教育との連携（酪農体験実習受入）	21年目標15～25人 実績20人
6、生乳保存温度監視機器導入	21年目標105基 実績105基